

「みんなの心をひとつに 5/10 臨時開館が決定！！」

連日、市民の皆さまが一日も早く名取市図書館を利用できるようにという思いを持って、実に多くの人たちが身体を使う作業をしています。本は意外に重いということをよく耳にしますが、数冊持ってみると、ずっしりと体感じます。ここ数日の肉体労働は、私たちの腕・肩・腰・足に心地よい筋肉痛を与えてくれています……。そのような中、ついに朗報が舞い込んできました。「5月10日(火)10時より、臨時開館決定」と！目標が決まり、今後の作業にも力が入りそうです。

「離れの倉庫から本を移動 30人でバケツリレー」

これまでお伝えしているように、棚から落ちた本を書架に戻したり、本を選ぶ作業をしたり、これらの作業は臨時開館に向けて行なってきたものです。では、いったいどのようにして臨時開館するのか？と言いますと、図書館の敷地内で自動車図書館を活用し、また、建物および書架の被害が無かった離れの倉庫を活用するものです。



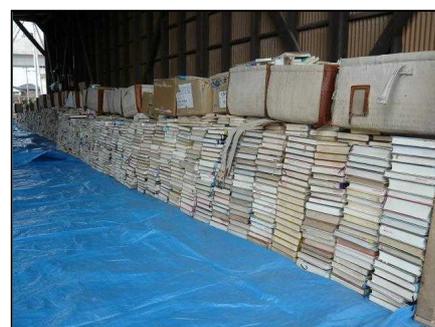
今日は、第1班で整理した離れの倉庫から、痛みの激しい本や古い本を全て敷地内に移動しました。方法はもちろん「バケツリレー」。名取市災害ボランティア20人の皆さんにもご協力をいただいて、総勢30人で行ないました。悪戦苦闘することもしばしばありましたが、3時間ほどで外に出すことができました。人海戦術の賜物です。携わった皆さん、長丁場お疲れさまでした。



臨時開館で活用する離れの倉庫
1階にある本を全て出しました



本を介した「人と人のリレー」
圧巻でした



(写真右) 平積みされた本は
ブルーシートに包んで保管



編集後記

(写真右：北広島市職員)
2階にある全集類を梱包作業中
全集類は1冊1冊が重たい！

こんな作業も…

(写真左)
図書館の窓を使ってお知らせ
「しばらくお待ちください
臨時開館へ向けて準備中！」



名取に来てから早6日。食事こそ三食毎食あたるものの2日に1回の銭湯、そして畳の上で寝られるものの寝袋での睡眠。避難所生活の被災者の皆さんのことを考えると驚沢なことは十分分かっているつもりなのですが、もうそろそろ「布団」が恋しい今日この頃です。(A)